



～キャンプ～

1日は花火をしてとてもキレイでした。ほんのみんな(全員)と仲間なりました。2日は朝からはんまて遊べてBBQはおいしくキャンプファイヤーは楽しいゲームや芸などをしてきためいはリーダーたちがしましたがとてもリアルでよかったです。3日目のミサは

《明石&神戸中央》

福島より1家族の参加がありました。緑の芝生広場でのサッカーやキックベース、プールに花火、キャンプファイヤー、肝だめし・・・思いっきり走って、汗を流した3日間でした。野外での遊びに制限のある福島の子も遠くにとって日頃のストレスを発散できたキャンプになったと思います。(明石/松崎 裕子)

初めてのじしゃができました。分が合いの私の仁ズ様は人の良いところをたくさん見つけられて、自分の良いところを言ってもらうととてもうれしかったです。思い出いっぱい2泊3日になりました。楽しかったです。

阿部 萌栄香



《たかとり》

初めてリーダーとして鷹取お泊り会に参加しました。始めはとっても緊張してどうしたらいいのかわかりませんでした。シスターや教会の責任者の方に協力していただき2日間無事終了することができました。とっても感謝しております。お泊り会を終えて子供たちとさらに仲良くなりました。福島から参加してくれた子供たちにも感謝の言葉を贈りたいと思います。一緒に過ごす時間は短かったけれど、それぞれこいい思い出ができたのではないのでしょうか。



今回のお泊り会の経験を生かし、自分の中で出来たこと、出来なかったことを思い返し、来年は子供たちに有意義な過ごせる時間を作りたいと思います。

(たかとり/EX. NGUYEN HOANG QUOC BAO)

《六甲》



兎田野高原野外教育センター”はグリーン広場という広い草原や雑木林、山道、ファイアー場、グラウンド、池 等々のある広大な県の施設です。六甲では何度も使ってきましたが、まだまだ全部は奥になせいでないくらいです。今年も天候にも恵まれ、新大学生のチーフとスタッフ達が一生懸命に作り上げたプログラムは子供たちはもちろんのこと、リーダー達も大いに楽しませてくれました。お食事は“食事リーダー”の手作りで、アレルギーを配慮しつつ、みんなが美味しくいただけるよう工夫が凝らされていました。福島から参加の6年生の女子2人が積極的にメンバーにこけ込み、リーダーとも馴染んで、楽しそうな様子でした。今年培った絆が、これからも繋がっていくことを心から祈ります。

(六甲/阿部 陽子)



8月8日から11日までうわのキャンプ場へ六甲教会学校のみんなどちいさきのみんなどで行きました。私が一番心の中にこった所は「当たり前をそうぞうしよう!!」のプログラムです。なぜなら、今までの私をふりかえることができたからです。今までの私は、このことを考えもしたことがなかったし、今までのことが当たり前だと思っていました。だから、私は、何かをしてもらったときは、「ありがとう」の言葉をわすれないように気をつけたいと思います。そして、東日本大しんさいで、家族をなくした子どもたちは、私たちみたいに、しあわせにはくらせていないと思います。私が、こんなにしあわせに生活をおくれていることをかんしゃしています。(3年若菜)

《箕面プログラム》

初日の祈りの時、祭壇の下に置いた台にキャンドル奉納をしたが終わると走って行ってまるで吹き消すかきました。お撮りたかっでもう一度撮影をしました。(Sr. 吉住映利子)



ところ、祈りの時間すぐに、みんな前にて「ふーっ、ふーっ」誕生日のケーキを吹のように消してしまい母さんたちは写真をたのに、と残念そう点けなおし皆で写真



数日の大阪滞在中でしたが、遠く離れていても決して忘れることなく思い続け、祈り続け、つながっていることを笑顔の中に確認しあうことができました。

キリストとおなじ思いをいただき、かけ橋となり続けることができますように。 感謝!!

《山ロプログラム》

ここ、山口に来て思い切り外で息を吸い、海で遊び、農園での体験をし、動物ともふれあい、子どもたちの笑顔を見られたことは親の喜びです。楽しい思い出を作って下さり本当に感謝です（福島のお母さん）



今回の保養プロジェクトは、今までボランティアに行った人だけが隣人になっていたような気がしていましたが、福島から皆さんが山口に来られたことにより、みんなが隣人になったのではないかと思います。制限のある生活を少しでも解放してあげられるように今回だけで終わるのではなく、来年も再来年も続けて欲しいと思います。（食事ボランティア）

《三田 with 鈴蘭台》

参加した子供 26 人、8 月 3 日（土）12 時半、三田教会に集合。最初に、信徒の方で完全無農薬野菜を作られている堤農園で、おいしい野菜の収穫を体験。その後キャンプ場の「三田市野外活動センター」へ移動し、川遊び、自分たちで収穫した野菜とお肉で BBQ、キャンプファイアー、天体観測、肝だめしと、ちょっと欲張り過ぎのスケジュールでしたが、皆それぞれに自然の中で初日の楽しい時間を過ごしました。



翌日は中川神父様司式の野外ミサ、人たちの手によるおいしいカレーライしました。今回は鈴蘭台教会からも 4 人しました。（三田 吉岡 牧子）



朝食のあと再び川遊び。三田教会へ戻って、お母さスを食べ解散。無事に過ごせた 1 泊 2 日に感謝しのお友達が参加してくれて、よい交流の機会となり

《住 吉》



甲山自然の家



今年も甲山の自然の中で子ども達とリフレッシュできました。同時に子供たちの成長の早さに驚きながらも嬉しく思いました。神に感謝

赤波江 神父

《洲 本》

7/28～8/11 の間に、加古川、なみはや、関目、仁川の各小教区より約 70 名の小中高生達が集まり、海水浴 BBQ と楽しい思い出をたくさん作って帰られました。（出嶋）

* 楽しいこといっぱいの夏休みも終わり、今頃はどこの小学校でも運動会に続く音楽会の練習に余念がない頃を迎えています。「サヨナラー」、「元気でねえ〜」、「また来年も来ていいですかあ・・・?」、「うん、また会おうねえ!」と新神戸駅に響いた別れを惜しむ声がまだ耳の奥に残っています。今回は日程の関係で福島からの参加がなかった小教区キャンプの様子も神戸地区内の活動紹介としてお伝えしました。なお、「北須磨&垂水合同キャンプ」は 8 月号でお知らせ致しましたので、今号では割愛させていただきました。

また、11 月度の地区評議会で報告書を各小教区にお届け致しますので、こちらの方もどうぞご覧ください。

ご支援ありがとうございました。

感謝のうちに

お詫びと訂正：9/1 発行の号外号で「北須磨キャンプ」とありましたが、正しくは「北須磨&垂水合同キャンプ」の間違いでした。ここに訂正しお詫び申し上げます。 “ふっこうのかけ橋” 実行委員会